福岡市保健環境研究所における調査研究の体系図（H26～R6年度）

R6年7月現在

研究所の使命	行政計画の視点	行政施策	取　組	分類	主要業務（平成25年度以降）	主な調査研究（平成26年度以降）
精確・迅速な試験検査とニーズを踏まえた調査研究により　豊かな環境及び市民の生命・健康を守り　安全・安心を確保する	健康で安全な暮らしの確保	健康危機管理体制の充実	健康危機管理体制の強化（分析法の開発）	AB	要綱に基づく健康危機事案時の対応 健康危機に係る検査 健康危機管理演習 精度管理に係る業務	● 福岡市における魚介類からの有機ヒ素の試験法開発と実態調査(H25～27) ● 蚊のウイルス検査法の研究（H27～28） ● 健康危機管理体制の強化（下痢性貝毒検査法と乳のアフラトキシンM1検査法の検討）（H28） ● シリカモノリス捕集剤を用いた迅速分析法の開発（R3～4） ● 健康危機管理のためのLC-Q/TOFMSを用いた植物性自然毒一斉分析法の開発（H30～R4） ● 災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発（共同研究）（R4～6）
			細菌による感染症対策	C	感染症の細菌検査 感染症発生動向調査等細菌検査 各種血清学的細菌検査 浴場・プール・環境水の検査	● 福岡市内で発生した腸管出血性大腸菌（O157等）の薬剤感受性の推移（H27～28） ● 環境水からのリアルタイムPCRによる病原細菌の検出（H27～29） ● ヒトとウシから分離された腸管出血性大腸菌の薬剤耐性状況の推移（H29～30） ● 薬剤耐性菌の分子疫学解析法（PFGE法）の検討（R3～5） ● 浴槽水等の細菌群集構造（細菌叢）解析（R4～6）
			ウイルスによる感染症対策	D	感染症発生動向調査等ウイルス検査 各種血清学的ウイルス検査	● 蚊のウイルス検査法の研究（H27～28）＊再掲 ● 次世代シーケンサーを用いた臨床検体中の病原ウイルスの探索（R5～7）
		くらしの衛生向上	食中毒への対応と技術の応用	E	食品の微生物検査 食中毒に係る微生物検査	● *Escherichia albertii* を原因とする細菌性食中毒予防の研究(H25～26) ● カンピロバクターおよび大腸菌に感染するバクテリオファージに関する食中毒予防に向けての研究（H26～27） ● 生鮮魚介類の喫食による寄生虫性食中毒の調査研究（H27～29） ● *Campylobacter*属菌の迅速検査法の検討(H27～29) ● 食品及びヒトから分離した*Campylobacter jejuni/coli*の疫学的解析（H30～R3）
			食品添加物への対応と技術の応用	F	食品添加物の検査 食品の成分規格の検査	● 輸入食品中の指定外食品添加物一斉試験法の開発(R1～4) ● 新規妥当性確認ガイドラインに対応した食品添加物一斉分析法の開発(R6～R8)
			遺伝子組換え・アレルギー食品への対応と技術の応用	G	遺伝子組み換え食品の検査 アレルギー物質の検査	● 加熱加工食品におけるアレルギー物質（小麦）の遺伝子検査法の検討（H28～29）
			残留有害物質への対応と技術の応用	H	食品中の残留農薬・動物性医薬品等の検査 食品中の有機汚染物質の検査 血中PCBの測定	● 福岡市における魚介類からの有機ヒ素の試験法開発と実態調査(H25～27) ● 食品中に残留する農薬等の一斉試験法及び一日摂取量調査に関する研究（H26～28） ● 食品中のヒ素形態別分析法の改良と海産物の実態調査（H28～30） ● 3層固相ミニカラムを用いた農産物中の残留農薬迅速一斉分析法の開発(R5～R7)
	豊かな自然と歴史に育まれ　未来へいのちをつなぐまち	未来につなぐ低炭素のまちづくり	温暖化対策	I	栄養塩類物質循環調査	● 沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究（共同研究）（H26～28） ● 海域における水質管理に係わる栄養塩・底層溶存酸素状況の把握に関する研究（共同研究）（H29～R1） ● 沿岸海域における新水質環境基準としての底層溶存酸素（貧酸素水塊）と気候変動の及ぼす影響把握に関する研究（共同研究）(R2～4) ● 海域における気候変動と貧酸素水塊（DO）/有機物（COD）/栄養塩に係る物質循環との関係に関する研究（共同研究）(R5～7)
		快適で良好な生活環境のまちづくり	化学物質等の環境リスクへの対応	L	ダイオキシン類，環境ホルモン等の分析 有害大気汚染物質の検査 アスベストの検査 家庭用品の調査 微量化学物質の分析・調査	● 水環境における農薬・医薬品類等の実態調査(H25～26) ● 国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明（H25～27） ● 高リスクが懸念される微量化学物質の実態解明に関する研究(共同研究)（H28～30） ● 環境水中のストレプトマイシン分析法（R1～3） ● 福岡市における環境水中の抗菌薬の実態調査（R5～7）
			広域的汚染実態の把握	M	酸性雨の調査・研究 フロンの検査 オキシダント・黄砂・PM2.5の調査研究	● PM2.5の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明(H25～27) ● PM2.5の健康影響調査(H25～27) ● PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明(共同研究)（H28～30） ● 光化学オキシダントおよびPM2.5汚染の地域的・気象的要因の解明（共同研究）（R1～3） ● PM2.5成分の経年変化及びPM2.5高濃度・黄砂飛来事例の解析（R3） ● 光化学オキシダント等の変動要因解析を通した地域大気汚染対策提言の試み（共同研究）（R4～6） ● 福岡市における光化学オキシダントの長期的な推移と高濃度要因の検討（R4～5）
			生活環境の保全	N	事業場排水等に係る検査 地下水等の水質検査 大気常時監視の検査 浄化槽の水質検査 ダニ・異物の検査 熱中症に関する調査研究 公共用水域の水質等調査	● 熱中症（暑さ指数）に関する調査（H26～27） ● 博多湾の海ごみ組成調査（R1） ● 福岡市における熱中症救急搬送と気象条件との関連に関する調査研究（H29～30，R1） ● 有害大気汚染物質モニタリング結果の解析（測定地点の特徴の解明）（R3）
		市民がふれあう自然共生のまちづくり	生物多様性の保全	O	河川の底生動物モニタリング 博多湾の調査 特定外来生物調査	● 福岡市内河川の底生動物を用いた環境評価(H4～) ● 特定外来生物（アライグマの生息域）に関する研究（H25～26） ● 博多湾の干潟・浅海域における市民共働の生態系機能の保全・創造に関する調査研究（H28～R1） ● セアカゴケグモの耐寒性に関する調査研究（H29） ● 環境DNA技術を用いた魚類の網羅的モニタリング調査の検討（R3～5） ● 博多湾における環境DNAを用いた魚類のモニタリング（R6～8）
			産・学・官との連携・共同研究	P		● 水環境における農薬・医薬品類等の実態調査（H25～26）＊再掲 ● 福岡市における魚介類からの有機ヒ素の試験法開発と実態調査(H25～27)＊再掲 ● PM2.5の健康影響調査（H25～27）＊再掲 ● PM2.5の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明（共同研究）（H25～27）＊再掲 ● 国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明（H25～27）＊再掲 ● 沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究（H26～28）＊再掲 ● PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明（H28～30）＊再掲 ● 高リスクが懸念される微量化学物質の実態解明に関する研究（H28～30）＊再掲 ● 食品中のヒ素形態別分析法の改良と海産物の実態調査（H28～30）＊再掲 ● 博多湾の干潟・浅海域における市民共働の生態系機能の保全・創造に関する調査研究（H28～R1）＊再掲 ● 博多湾の海ごみ組成調査（R1）＊再掲 ● 海域における水質管理に係わる栄養塩・底層溶存酸素状況の把握に関する研究（共同研究）（H29～R1）＊再掲 ● 災害時等の緊急調査を想定したGC/MSによる化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発(共同研究)（R1～3） ● 光化学オキシダントおよびPM2.5汚染の地域的・気象的要因の解明（R1～3）(共同研究)＊再掲 ● 沿岸海域における新水質環境基準としての底層溶存酸素（貧酸素水塊）と気候変動の及ぼす影響把握に関する研究（共同研究）(R2～4)＊再掲 ● 里海里湖流域圏が形成する生態系機能・サービスとその環境価値に関する研究（共同研究）(R3～5) ● 災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発（共同研究）（R4～6）＊再掲 ● 光化学オキシダント等の変動要因解析を通した地域大気汚染対策提言の試み（共同研究）（R4～6）＊再掲 ● 海域における気候変動と貧酸素水塊（DO）/有機物（COD）/栄養塩に係る物質循環との関係に関する研究（共同研究）(R5～7)＊再掲
		保健・環境に関する教育・情報の提供及び国際貢献	教育・情報の提供	Q	まもる一む福岡の企画管理運営 HP等による情報発信 広報誌（ほかんけんだより）の発行 ほかんけん研究者体験の実施	
			国際貢献	R	海外研修生の受入 海外派遣	

■ は　今回報告する調査研究
（うち朱書きは新規の調査研究）

※過去10年間について掲載